

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCR228B	TCR_English Communication Strategies III_B	
科目名（コード）	TCR228	TCR_English Communication Strategies III_B	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CH2	単位数	2単位30
授業担当者	佐々木敬太	時間数	
成績評価教員	長島洋介	講義期間	春期
実務者教員		履修区分	
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	基礎英語コミュニケーション力をケーススタディやディスカッションなどでビジネス戦略力を養う
全体の内容と概要	基礎的かつ必要不可欠な英文法のルールを理解し、それらを用いた英文を理解することができる、また、それら文法構造を用いて発話するスキルを身につける。
授業時間外の学修	偶数回の授業において、各UnitのReading Sectionの語彙と内容を予習の範囲として事前把握に努める。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	<u>単純現在（過去）及び現在（過去）進行形</u> の文構造の理解と身の回りの	Unit 1 (p.6-11) 単純現在（過去）と現在（過去）進行形の違いを理解する。また、それらの文法構造を用いたリスニングアクティビティと発話練習を行う。
2	<u>単純現在（過去）及び現在（過去）進行形</u> の文構造の理解と身の回りの	Unit 1 (p.6-11) 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
3	<u>単純現在（過去）及び現在（過去）進行形</u> の文構造の理解と身の回りの	Unit 1 (p.12-16) 第2回までに扱った文法構造が含まれる比較的長い文章に触れ、Reading skill（特に、extensive reading）を養う。
4	<u>単純現在（過去）及び現在（過去）進行形</u> の文構造の理解と身の回りの	Unit 1 (p.12-16) 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
5	<u>知覚動詞</u> を用いた 第2文型 の文構造理解と第2文系を用いた発話練習を行う	Unit 2 (p.17-23) 第4回までに扱った文法構造が含まれる比較的長い文章に触れ、Reading skill（特に、extensive reading）を養う。形容詞と副詞の違いと用法
6	<u>知覚動詞</u> を用いた 第2文型 の文構造理解と第2文系を用いた発話練習を行う	Unit 2 (p.17-23) 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
7	長文読解の中で 第2文型 の文構造を検知し且つ同文構造で発話できるよう	Unit 2 (p.24-28) 第6回までに扱った文法構造が含まれる比較的長い文章に触れ、Reading skill（特に、extensive reading）を養う。
8	長文読解の中で 第2文型 の文構造を検知し且つ同文構造で発話できるよう	Unit 2 (p.24-28) 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
9	<u>現在完了形</u> の基本構造、 <u>可能性を表す助動詞</u> の文構造理解と発話練習を	Unit 3 (p.29-35) 現在完了形の構造（have/has + 過去分詞）の用法の理解、現在形や過去形との違い、可能性を表す助動詞（could/be able to do）を用いた表現
10	<u>現在完了形</u> の基本構造、 <u>可能性を表す助動詞</u> の文構造理解と発話練習を	Unit 3 (p.29-35) 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
11	長文読解の中で <u>単純過去／過去進行形</u> の文構造を復習する。	Unit 3 (p.36-40) 現在完了形の構造（have/has + 過去分詞）の用法の理解、現在形や過去形との違い、可能性を表す助動詞（could/be able to do）を用いた表現
12	長文読解の中で <u>単純過去／過去進行形</u> の文構造を復習する。	Unit 3 (p.36-40) 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
13	期末試験対策	期末試験に向けてのレビュー
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	StartUp Student's book 3
参考文献・資料等	
備考	※授業の進捗状況を鑑み、各回のトピックに合った記事等を追加資料として配布する可能性があります。